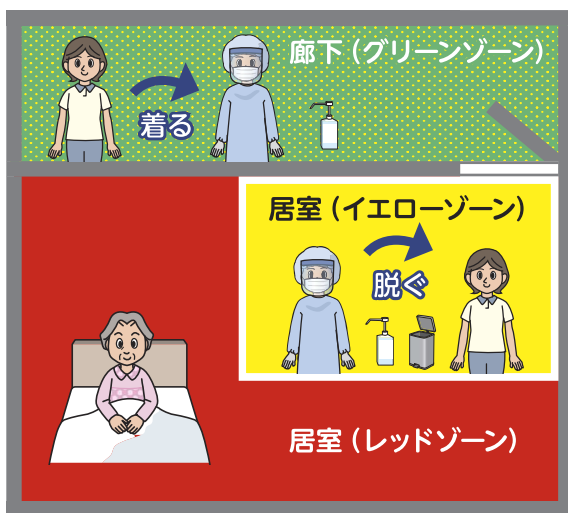


# ゾーニング

陽性者とそれ以外の利用者・職員との動線が重ならないようにゾーニングしましょう。

|         |  |
|---------|--|
| レッドゾーン  | 新型コロナウイルス感染症の陽性者が入室されていて、コロナウイルスで汚染されている場所（常に個人防護具を着用） |
| イエローゾーン | 個人防護具を脱ぐ場所   |
| グリーンゾーン | コロナウイルスで汚染されていない場所（個人防護具を着用していない場所）                    |

## ●一人の陽性者を個室隔離する場合



**CHECK!** 個室がない場合は、あらかじめ隔離できる部屋を準備します



**CHECK!**

各ゾーンをカラーテープで区切ります



**NG!**

ビニールカーテンなどで覆う必要はありません

## ●複数名の感染者が出た場合（室内に留まることが可能な場合）



**CHECK!**

居室内にトイレがないときは、ポータブルトイレを設置します

\*ポータブルトイレも設置できないときの対応は、P.11「トイレ」を参照

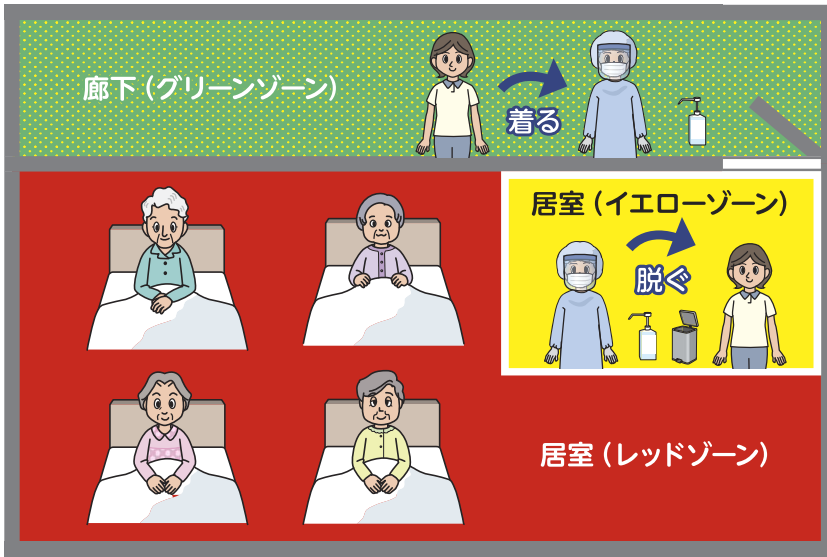
**POINT!**



- 個人防護具はグリーンゾーンで着用してイエローゾーンで脱ぐのが原則です。
- レッドゾーンはできるだけ狭く設定し、陽性者が増えれば拡大していきます。
- 陽性者は居室外に出ないのが原則です。食事も居室で食べてもらいましょう。入浴は控え、清拭にします。



● 複数名の陽性者が出て個室がない場合



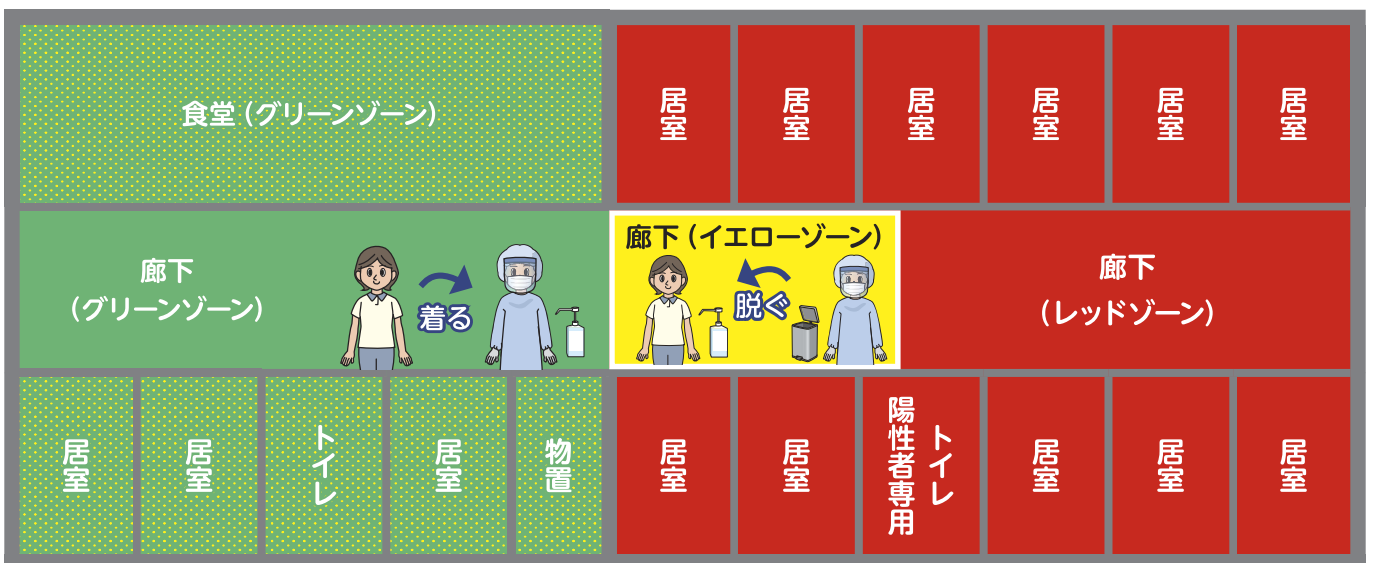
CHECK!

陽性者を一室に隔離する場合は、室内での陽性者間のパーテーションは不要です

NG!

陽性者と、陽性ではない(感染していない)利用者や濃厚接触者を同室にしないようにしましょう

● 複数名の陽性者が出た場合  
(室内に留まることができない場合: エリアごとレッドゾーンにしたケース)



CHECK! グリーンゾーンとレッドゾーンは床にカラーテープを貼り付け境界の目安としますが、陽性者がグリーンゾーンに出てきてしまう場合、パーテーション等を設置する工夫もあります

CHECK! エリアごとレッドゾーンにした場合は、陽性者はエリア内を行き来することができます

CHECK! トイレは、レッドゾーンのエリア内にあることが望ましいです

POINT!



■ レッドゾーンでは、職員の休憩室を作らない、職員は飲食をしない、私物を持ち込まないようにしましょう。